

今年も残すところ、あとわずかとなりました。これからクリスマスや年末年始の集まりなどで、お菓子を口にする機会が増えるのではないのでしょうか。みなさんは普段どんなお菓子をお買い求めですか。

総務省が都道府県庁所在地および政令指定都市の全52市(東京都は東京都区部)を対象に実施している「家計調査」の平成25年の結果によると、山口市の「菓子類」の年間支出金額は全国平均より3068円多い8万2016円で、全国順位は18位と、山口市民は結構お菓子好きであることがうかがえます。

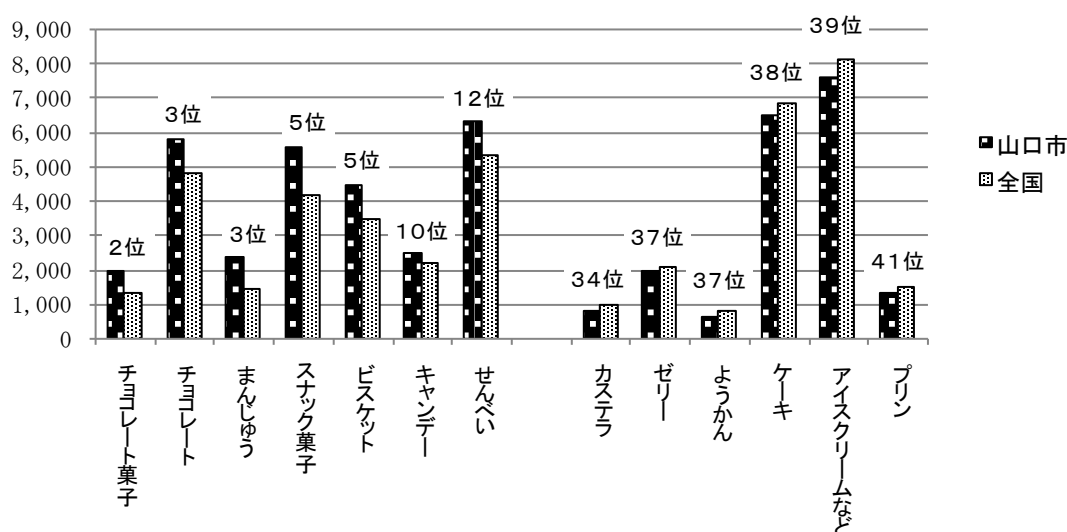
品目別の順位をみると、チョコレート菓子(2位)、チョコレート(3位)、まんじゅう(3位)などは上位ですが、プリン(41位)、アイスクリーム(39位)、ケーキ(38位)などは下位で、お菓子全般の順位が高いわけではなく、品目によって上位と下位に分かれているのも特徴です。

これを見ると、山口市では、みんなで一緒に食べるお菓子を購入することが多いような気がしませんか。お菓子を囲んで、楽しく会話を弾ませている友達同士の姿が浮かんでくるようです。

さて、お菓子といえば欠かせないのはお茶などの飲み物ですが、ここでも山口市は、麦茶や玄米茶などの「他の茶葉」が1位に対し、「紅茶葉」は40位と大きく分かれています。

家計調査は、みなさんの暮らし全般を反映しています。今回紹介したもののほかにも、さまざまな項目の集計を行っていますので、探してみると山口の意外な特色が見つかるかもしれません。

平成25年 1世帯(二人以上)当たり年間の品目別
支出金額および山口市の全国順位(菓子類)



出典:総務省「家計調査」